

## 琉球びんがた事業協同組合

### 1. 設立の経緯

今次大戦で生産基盤を根底から破壊されつくしてしまった琉球びんがたは、技術者等関係者の努力によって復興への道を歩みはじめた。

### 2. 沿革

昭和25年	「びんがた保存会」が結成され、後に「紅型振興会」へと発展する。
昭和48年	「沖縄びんがた伝統技術保存会」が結成される。 沖縄県の無形文化財の指定を受ける。
昭和51年11月5日	組合設立
名称	琉球びんがた事業協同組合
理事長	名 渡 山 愛 擴
所在地	那覇市首里儀保町4-79-3 名渡山工芸館内
組合員数	12名
昭和59年5月31日	通産省大臣より国の伝統工芸品として指定を受ける。
昭和59年6月	那覇市首里儀保町4-72-2に事務所移転
昭和59年7月	後継者育成事業始まる
平成5年	那覇市字当間1-1 那覇市伝統工芸館内へ
平成16年10月1日	那覇市前島1-11-12 テレホンビル1階へ 事務所移転

### 3. 概要

名称	琉球びんがた事業協同組合
理事長	屋 富 祖 幸 子
所在地	那覇市前島1-11-12 テレホンビル1階
設立年月日	昭和51年11月5日
組合員数	23名
役員	理事7人 監事2人

### 4. 主な事業

- ・後継者育成事業
- ・協同購買事業
- ・協同販売事業
- ・表示事業
- ・需要の開拓に関する事業
- ・福利厚生事業
- ・その他琉球びんがたの振興に関する事業

(年1回の組合展、県内外の展示会、  
児童生徒に対する伝統的工芸品教育事業等)